

15. 日本語教育を通し子供たちの健全な心を育てる 交流ボランティア活動

グループ名 センシティ土曜にほんご学級

代表者 田中 秀子

① 活動の目的

日本語を母語としない子供たちが、義務教育内容が理解でき、学校や社会で仲間を作れるよう日本語教育を支援することです。特に

- 1) 学校での学習内容を理解し、義務教育を無事終えること。
- 2) 高校進学できるように高校受験を支援。
- 3) 日本の文化や行事を知ってもらうこと。
- 4) 学校や社会で居場所を失っている子供たちに、仲間と一緒になるれる場所を作ること。

② 活動概要

1. 通常活動として毎土曜日、10時～12時の間、日本語を母語としない小学生から高校生までの子供たちを対象に日本語の学習支援を行っています。それぞれ小学生（28人）、中学生（14人）、受験生（9人）、高校生（11人）のクラスに分かれて授業を行っています。（数字は2018年3月末）
小学生は遊びを取り入れて、ひらがな、カタカナ、漢字などの学習が中心です。
中学生、受験生、高校生はレベルに応じて漢字、日本語それに教科（英語、数学）の学習を支援しています。



授業風景 1



授業風景 2



授業風景 3

2. 各種行事とイベント

子供たちの学習の一環として日本の伝統的な行事を知ってもらう活動を行っています。
節分、ひな祭り、端午の節句（子供の日）などの行事を行い皆に楽しんでもらいます。

- 1) 節分 2018年1月27日



2) ひな祭り 2018年2月24日



3) 端午の節句 2018年4月22日



4) 七夕 2018年7月1日



5) お楽しみ会（クリスマス）2017年12月16日



6) 役員会／定例会／その他の活動

・役員会は毎月開催し定例会（ボランティア全員）はひと月ごとに開催しています。役員会では各グループの活動報告、支援活動上の問題、活動場所の確保の問題、千葉市国際交流協会や外部団体との交流など話し合い、整理しています。その結果を定例会に報告して問題の解決や方針を決めています。今年度は主たる会場として利用していた千葉市国際交流協会が千葉中央ツインビル 2 号館 8 F から千葉市中央コミュニティセンターへ移転するという問題が発生したため、会場の確保や引越しが大変でした。

外部団体主催の交流会などの活動としては次のようなものがあります。特に毎年開かれている進路ガイダンスは高校受験生にとって重要ですので全面的に協力支援しました。

- 千葉県 国際フェスタ千葉参加（5月27日）
- （高校）進路ガイダンス千葉会場（千葉大学西千葉キャンパス）（10月1日）
参加協力



- 日本語交流会（千葉市国際交流協会）（10月22日）
- 千葉市国際ふれあいフェスティアバル参加（2月11日）

3. 冬期講座

2017年度の冬期講座は2017年11月18日（土）～2018年2月10日（土）開催。
毎土曜日10：00～15：00 参加受験生9人。日本語の聞き取り、日本語学習、
漢字の読み書き練習。英語と数学授業などを、時間表に応じて個別に指導しました。
12月～2月にかけて何種類かのテーマで作文の作り込みを行いました。また面接の練
習など受験の本番に合わせた授業を行いました。



4. 夏期講座 2018年7月25日～27日

2018年度の夏期講座は7月25日～27日に開催されました。参加者は5人でした。
夏休みは気が緩みがちなこと也有って、11月からの冬期講座に向けて、生徒によって
来日からの期間が異なるので各自の漢字や日本語の基礎学力を整えることに力をいれ
て学んでもらいました。また今回は3日間で夏休み前に経験した修学旅行をテーマに
して作文をみんなに書いてもらい、最後に発表してもらったりしました。



③ 決算報告書

収 入 大同生命厚生事業団助成金	1 0 0 , 0 0 0 円
支 出	
1. 通常活動 会場利用料	1 6 , 1 1 0 円
各種行事 (節分、ひな祭り、子どもの日 七夕) 食材、材料費	5 , 1 1 0 円
お楽しみ会 食材	2 5 , 7 2 2 円
お疲れさま会 食材	6 , 3 9 8 円
2. 特別支援 冬期講座 交通費	5 0 , 5 0 0 円
夏期講座 交通費	1 1 , 5 0 0 円
合 計	1 1 5 , 3 4 0 円